

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス谷山中央教室		
○保護者評価実施期間	7年 1月 15日		7年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	7年 1月 15日		7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の方の話を聴き、寄り添う力。	・帰りの送迎時やLINEやお電話で困りごとやご相談があった時には、必要に応じて時間を設けるなどしてお話をしっかりと聞き取り、具体的なアドバイスや提案をしている。	・相談内容に応じた適切なアドバイスができるよう、自己研鑽に努める。 ・専門職からも意見を聞き、多方面からの提案ができるように尽くす。
2	・子供たちの運動特性を理解する力。	・専門職からの適切なアドバイスをもとに個々の強みを伸ばし、レベルに合わせた取組みを工夫している。	・取組みを工夫する上で、少し難しいものやチャレンジできるものも取り入れながら自己肯定感に繋がる活動を工夫していく。
3	・子供たちの変化に気付く力。	・子供たちの日頃の過ごし方を見ながら、いつもと違う行動や気になる言葉を聞いた時には、その日のうちに職員間で共有している。	・職員で共有した上で本児が直面している問題点を考え、保護者との連携を取りながら解決方法を提案していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会が開催できていない。	・初めての取組みなので、時期や場所、内容を含めてどのように進めていけばいいか、迷っている。	・実際に開催した教室の取組みを参考にしながら、現実的な計画を立てていく。
2	・土曜日や祝日の利用が少ない	・子供たちがワクワクする活動が立案できていない。	・活動のマンネリ化を防ぎ、楽しい活動になるように新しいものも取り入れていく。
3	・帰りの送迎がいつも最後になる事・遅くなることで不満に思っている児童がいる。	・いつも同じルートである程度固定されているため。	・早く帰宅できるよう、無理のない範囲で送迎児童の乗り合わせを工夫する。